

アサヒペン

サビの上からそのまま塗れる

油性

高耐久

アクリルトタン用α

アルファ



サビ落とし
不要

ガルバリウム鋼板にも塗れる
酸性雨、酸性雪、塩害に強い

※ボロボロと取れるよ
うなサビは取り除く
必要があります。

美しいツヤ

消防法上の
非危険物

指定可燃物



商品名

規格

油性高耐久アクリルトタン用α 1.6kg・3kg・6kg・12kg

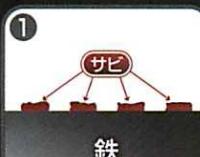
特長

- サビの上から直接塗れる、トタン用の高光沢塗料です。
- 1回塗りで仕上がりますので作業性が抜群です。
- 特殊強力防錆剤がサビの進行を抑え、長期間素材をサビから保護します。
- 特殊アクリル樹脂の採用で耐候性が良好です。

用途

- 屋根、とい、ひさし、下見板、へいなどのトタン板、カラートタン、ガルバリウム鋼板、屋外の鉄部や木部
- ※ 食器などの直接食品等が触れるような箇所や、常時水につかるところ、車のマフラーなど耐熱性が必要なところ、自動車・バイクの補修、床面、テーブルの天面には適しません。

アサヒペン《油性高耐久アクリルトタン用α》のサビを防ぐメカニズム



①塗装前の状態



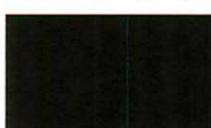
②サビの上からアサヒペン「高耐久アクリルトタン用α」を塗ります。
サビた鉄面が塗料で覆われます。



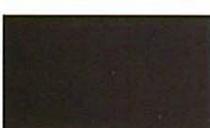
③塗料の乾燥過程で、非常に付着性の高い樹脂と特殊防錆顔料によって、サビた鉄面はしっかりと覆われ、ち密な塗膜を形成していきます。



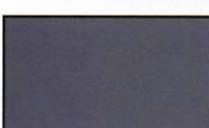
④乾燥後、ち密な塗膜が水分や酸素の浸入をブロックし、特殊防錆顔料との相乗効果により新たなサビの発生を長期間抑えます。



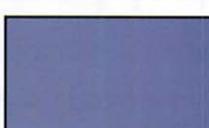
黒



こげ茶



オーシャンブルー



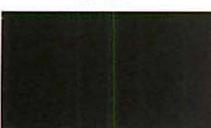
スカイブルー



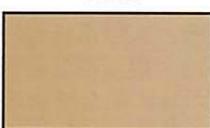
ニューレッド



グレー



新茶



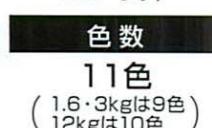
ニューカリーム



なす紺



ディープグリーン



色数

11色
(1.6・3kgは9色)
12kgは10色)

※この色見本は印刷ですので、実際の色とは異なります。



無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。



乾燥時間
夏期 / 2~3時間
冬期 / 5~8時間

塗り重ね時間の目安
夏期 / 1日以上
冬期 / 2日以上



塗りにくいときは
ペイントラッセル
うすめ液

(10%以内)
うすめて下さい



ASAHIOPEN CORP.

油性高耐久アクリルトタン用α

サビの上からそのまま塗れる

油性
高耐久 アクリルトタン用

JANコード一覧表

規格 色名	1.6kg	3kg	6kg	12kg
黒	4970925539113	4970925539205	4970925539298	4970925539403
赤さび	4970925539120	4970925539212	4970925539304	4970925539410
こげ茶	4970925539137	4970925539229	4970925539311	4970925539427
オーシャンブルー	4970925539144	4970925539236	4970925539328	4970925539434
スカイブルー	4970925539151	4970925539243	4970925539335	4970925539441
ニューレッド	—	—	4970925539342	4970925539458
グレー	4970925539168	4970925539250	4970925539359	4970925539465
新茶	4970925539175	4970925539267	4970925539366	4970925539472
ニュークリーム	4970925539182	4970925539274	4970925539373	—
なす紺	4970925539199	4970925539281	4970925539380	4970925539489
ディープグリーン	—	—	4970925539397	4970925539496
塗り面積(1回塗り)	11~17m ² (タタミ7~10枚分)	21~32m ² (タタミ13~19枚分)	42~65m ² (タタミ25~39枚分)	84~130m ² (タタミ51~78枚分)
商品サイズ 横幅×奥行×高さ(mm)	150×150×170	190×190×190	238×238×175	238×238×349
外箱入数	6	4	1	1

塗装方法

取扱い上の注意

- ① はがれかかった古い塗膜やボロボロと取れるようなサビは、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドベーパーなどを使用して取り除きます。何度も塗り替えられて塗膜が幾重にも重なっている場合は、最下層の密着力低下によるハクリを起こす場合がありますので、特に念入りに劣化した塗膜を取り除いて下さい。
- ② 旧塗膜の表面を軽く手で触れて色落ちする(ヨーキングしている)場合は、ペイントうすめ液で拭き取る、或いは水を流しながらデッキブラシでこするなどして、手で触れてもほとんど色落ちしなくなる程度まで劣化した部分を除去します。
- ③ 塗った面のゴミや汚れ・カビを取り、油分やワックスはペイントうすめ液で拭いてよく落とします。
- ④ 塗料がついて困るところは、あらかじめマスキングテープなどでおおいます。
- ⑤ フタに手をそえて、フタと容器の間にマイナスドライバーを差し込んで開け、棒などで塗料を底から充分にかき混ぜて均一にします。
- ⑥ サビを落としたところは、その部分を先に本品で塗っておきます。
- ⑦ コーナーや塗りにくいところは先にすじかいバケで塗ります。広い面積の部分はコテバケ・ローラーバケ・平バケなどを使うと、速く、楽に塗ることができます。
- ⑧ マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。
- ※ 表記の乾燥時間は半硬化(指で軽くこすって跡がつかない状態)の時間です。

うすめ方

塗りにくいときはペイントうすめ液(10%以内)でうすめて下さい。

合成ポイル油では絶対にうすめないで下さい。

用具の手入方法

塗料が乾かないうちに、ペイントうすめ液かハケ洗い液で洗って下さい。ハケについている塗料を新聞紙などでしごき取ってから洗えば、うすめ液は少量ですみます。

保管上の注意

- ① 幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。
- ② 直射日光や火気のある場所、自動車内などの高温になるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。
- ③ 残った塗料はしっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切って下さい。

- ① 表示の用途以外には使用しないで下さい。
- ② 火気のあるところでは塗らないで下さい。
- ③ 体調が悪いときや、アレルギー・化学物質に敏感な人は、使用しないで下さい。
- ④ 溶剤蒸気を吸入しないよう、目に入らないよう、また誤飲しないように注意して取扱って下さい。有機溶剤が含まれていますので、塗装中・乾燥中ともに換気をよくして下さい。
- ⑤ 取扱い中は必要に応じてマスクや保護メガネ、保護手袋(塗料が浸透しないもの)を使用して下さい。炎症を起こすことがありますので、皮膚に触れないようにして下さい。
- ⑥ 塗料が衣服につくと取れません。塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。
- ⑦ 雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。
- ⑧ 露出する時期には午後3時までに塗り終えて下さい。
- ⑨ あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、色・乾燥性・下地への影響・密着性などを確かめてから塗って下さい。特殊なサイディング・コーティング材・シーリング材の中にはハジキが生じたり密着しないものがあります。
- ⑩ 屋根を塗る場合は、降りる所が最後になるよう順序を考えて塗って下さい。また転落事故のないよう充分に注意して作業して下さい。塗料が乾燥するまでは、たいへんすべりやすいので塗膜の上を歩かないよう注意して下さい。
- ⑪ 新しいトタン板に塗る場合はすぐに塗らず、表面のツヤがにぶくなつてから塗る方が密着力が増します。
- ⑫ トタン板に塗装する場合はハガレの原因となりますので、サビドメ塗料での下塗りはしないで下さい。
- ⑬ うすめすぎたり、うすぐ塗りすぎると、充分な効果が得られない場合があります。
- ⑭ 塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件の違いにより多少異なります。
- ⑮ 塗り重ねる場合は夏期1日以上、冬期2日以上乾かしてから塗って下さい。乾燥が不充分な状態で塗り重ねると、塗膜がシワ状に浮き上がることがあります。
- ⑯ コールタールを塗ってある上には、トタン用の銀をお使い下さい。
- ⑰ 容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。
- ⑱ やむをえず塗料を捨てるときは、水性・油性兼用塗料固化剤で固化するか新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。
- ⑲ 塗料が付着したボロ布などを丸めたまま放置すると、自然発火する恐れがありますので、廃棄するまで必ず水に浸けておき、そのままゴミとして処分して下さい。
- ⑳ 塗料を移し替える場合は金属等の溶けない容器を使用して下さい。
- ㉑ 容器を落下させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

株式会社 **アサヒペン**

大阪本社 〒538-8666 大阪市鶴見区鶴見4-1-12 電話 06-6930-5001
東京本社 〒135-0003 東京都江東区猿江2-3-16 電話 03-3846-6111

札幌支店 〒003-0030 札幌市白石区流通センター4-2-5 電話 011-863-3288
仙台支店 〒981-3112 宮城県仙台市泉区ハ乙女4-6-6 電話 022-218-5880
東京支店 〒135-0003 東京都江東区猿江2-3-16 電話 03-3846-6112
名古屋支店 〒453-0855 名古屋市中村区烏森町4-19 電話 052-485-3821

大阪支店 〒538-8666 大阪市鶴見区鶴見4-1-12 電話 06-6930-5008
広島支店 〒735-0021 広島県安芸郡府中町大須4-1-58 電話 082-282-0965
九州支店 〒813-0011 福岡県福岡市東区香椎1-22-5-201 電話 092-692-1510
(2018年4月1日より九州支店の電話番号が092-661-3310に変更となります。)

お問い合わせ先 お客様相談室 TEL 06-6934-0300 受付は、土・日・祝日・年末年始・夏期休暇を除く午前9時～午後5時まで。

ホームページアドレス <http://www.asahipen.jp>